



木曾街道六拾九次

The Sixty-Nine Stations of the Kisokaidō Road

2020. 4/1 (水) - 6/28 (日)

※会期中 展示替えがございます

前期: 4/1-5/10 後期: 5/12-6/28

◆観覧料: 一般1,000円、大高中学生500円、小学生以下無料

※以下の方は100円引きでご覧いただけます

団体(20名様以上)/60歳以上の方/障がい者手帳をご持参の方/
JAF会員様/隣接する歴史の里の半券持参の方

◆開館時間: 10:00~17:00(最終入館は16:30)

◆休館日: 毎週月曜日 ※ただし5月4日は開館

中山道を描いた風景画の代表作である「木曾海道六拾九次」(1835~39頃)は溪斎英泉と歌川広重による合筆で全70図から成る揃物です。本展ではこの「木曾海道六拾九次」全70図を前後期に分けて展示します※。併せて、この揃物の成功をうけて制作された歌川国芳の「木曾街道六十九次」(1852~53)、歌川国貞の「木曾六十九駅」(1852)もご紹介します。

木曾街道に取材した3つの揃物を通し、旅情溢れる作品に旅への思いを馳せた当時の人々の姿を想像しながらお楽しみください。

※溪斎英泉・歌川広重の「木曾海道六拾九次」は日本橋からの宿駅順で、前期日本橋～奈良井 / 後期・藪原～大津を展示します

This exhibition features "the Sixty-Nine Stations of the Kisokaidō Road". "The Sixty-Nine Stations of the Kisokaidō Road" (produced around 1835-39/Tenpō 6-10) is the most important series of landscape pictures depicting the Nakasendō Highway (also known as the Kisokaidō Road), which is made up of 70 pictures painted by Keisai Eisen and Utagawa Hiroshige. In this exhibition, all 70 pictures are exhibited, separated into former and latter periods. In addition, other series with the same title produced after the success of the above series are also exhibited; one is by Utagawa Kuniyoshi (produced in 1852-1853/Kaei 5-6) and another by Utagawa Kunisada (1852/Kaei 5).

We hope you will enjoy the three series depicting the Kisokaidō Road, imagining how the people back then thought about travel and showed interest to local scenery and customs, enhanced through the pictures full of travel allure.



①



②



③



④

表紙:歌川広重「木曾海道六拾九次之内 軽井沢」(前期のみ展示)
裏面:①溪斎英泉「岐祖ノ駅 河波長初川輪倒船」(後期のみ展示)②歌川国芳「木曾街道六十九次 香拵 黄石公 張良」(前期のみ展示)③歌川国貞「木曾六十九駅 熱川 諏訪社 勝頼」(前期のみ展示)④歌川広重「木曾街道 追分駅 浅間山眺望」(前期のみ展示)

関連イベント

◆4/28(火)は開館記念日

ご来館の皆様にご記念日贈呈
入館料半額(一般500円、学生200円)

◆リピーター割引

本企画展のチケットをご提示で、2回目以降の入館料が500円になります
※中・高・大学生は200円です
※各種割引の併用はできません

◆ギャラリートーク

4/18(土)、5/16(土)、6/20(土)
※14:00~(30分程度)
※要入館券・申込み不要

